

SDGsってなあに??

子どもに聞かれてももう安心!
今さら聞けない
人のための

“エスディージーズ”って読みます! /

SDGs

「SDGs」という言葉を最近、テレビや雑誌など、さまざまところで見たり・聞いたりしませんか?でも実際、「結局、SDGsって何??」って思っている人も多いかもしれません。明日、子どもたちに聞かれても正しく説明できるように…親子で一緒に考えられるように…、わかりやすく解説していきます。「SDGs」を取り組む前に、まず“知る”ことから始めましょう!

「SDGs」とは?

地球上には「環境問題」「戦争」「貧困格差」「人種差別」などなど…いろいろな問題があります。その問題が全て解消され、「誰一人取り残さない」で、世界中の人たちが安全で安心して暮らし続けていけることが理想です。2015年9月に、ニューヨークで開催された「国連持続可能な開発に関するサミット」で、その“理想”の実現に向かうための計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が定められました。「持続可能」とは「みんなが環境に悪影響を与えずに暮らし続ける」ということです。

この計画に記載されているのが「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」略してSDGsです。2030年までの達成に向けて17の目標が定められています。

簡単に言うと「世界中にあるいろいろな課題を、世界中のみんなで、2030年までに解決していこう!」という計画・目標です。



17の目標

17の目標に関することやSDGsに関することは外務省ホームページもご覧ください。

明日の話題に SDGs 豆知識

17の目標には、どのように、あるいはどの程度達成できているかを確認するため、それぞれの目標に対するターゲット(指標)が定められています。

例え 目標16「平和と公正をすべての人に」のターゲット(指標)には 16.1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力および暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

ターゲットの数は全部で169個!

目標は相互に関連 17の目標だけを見ると、ひとつひとつが別の目標のように見えますが、これらの目標は相互に関連しているものが多くあります。

例え 目標1「地球上のあらゆる貧困をなくそう」という目標を達成するためには… 目標4「だれもが平等に質の高い教育を受けられるようにしよう」をめざすことが必要になります。

5つの「P」

17の目標はそれぞれの特徴から大きく5つに分けられます。

People(人間) 1, 2, 3, 4, 5, 6
Prosperity(繁栄) 7, 8, 9, 10, 11
Planet(地球) 12, 13, 14, 15
Peace(平和) 16, Partnership(パートナーシップ) 17

頭文字が全部Pなんだね。5つのキーワードで考えると、SDGsのめざす世界がイメージしやすくなるね!

こんな取り組みを“しています”

ペットボトルを回収・リサイクルしてプラスチックごみを減らす



東桃谷地域 まちづくり協議会 理事長 岸村 修さん

この活動は地域先輩方の決意に始まり、私たちがその継続拡大をめざし進めています。一見、地道で面倒な取り組みのようですが、日々の生活に根差した、こどもから高齢者まで幅広い世代が参加できる、そして、地域住民と行政や企業が連携する、画期的で未来的なモデルでもあると考えています。私がいま願うことは、大は地球の環境改善や資源保全から、小は身近な地域社会や家庭のさまざまな課題解決まで、可能性に満ちた夢ある活動として、一人でも多くその意義を楽しく共有共感できる仲間が増えることです。

なぜ、プラスチックごみを減らさないといけないのか? プラスチックごみによる海洋汚染は深刻な問題です。プラスチックごみが海に流れると、海が汚れるだけでなく、海の生き物やそれを食べる私たち人間などにもさまざまな悪影響を与えます。

この取り組みは下記の目標につながっています

11 住み続けられるまちづくりを
12 つくもの責任
14 海の豊かさを守ろう

新たなペットボトル回収・リサイクルシステムとは?

大阪市では、全国の自治体に先駆けて「地域・事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステム(みんなであつなげるペットボトル循環プロジェクト)」を構築し、さらなるごみ減量とリサイクルを推進しています。この取り組みは、現在、家庭から排出される空き缶などとまとめて資源ごみとして行政回収しているペットボトルを、地域コミュニティ(地域活動協議会など、原則として、小学校区単位が活動範囲です。)と参画事業者(大阪府が事業連携協定を締結した事業者)が連携協働して回収し、売却益を地域コミュニティへ還元するものです。



新たなペットボトル回収・リサイクルシステム(みんなであつなげるペットボトル循環プロジェクト)についてはこちら▶▶▶

“いま”、私たちが“できること” 「知っている」から「やっている」へ

「SDGsの目標って誰が取り組むの?」それは、私たち一人ひとりです。個人で、家庭で、地域で…それぞれの立場でできることがあります。まずは、できることから始めてみませんか?それが大きな目標の達成への一歩になります。

こんな取り組みが“できます”

今日からできる! 家の外でも! 中でも! 簡単にSDGs

外に出かける時にできる! /

車をやめて徒歩や自転車で出かける!

1人あたりの温室ガスの減少につながります!

買い物中にできる! /

並んでいる商品は手前からとる。

「訳あり」商品を買う

簡易な包装のものを買う

マイバッグを使う!

食品ロス・ごみの減少につながります!

この取り組みは下記の目標につながっています

3 すべての人に健康と福祉を
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくもの責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう

家にいながらできる! /

水を出しっぱなしにしない

食べきれないものは早めに冷凍する!

食品ロス・資源の無駄使いの減少につながります!

さらに /

ソファに座りながらでもできる! /

エアコンの温度を「冬は低め」「夏は高め」に設定する!

電気を消す

エネルギーの無駄使いの減少につながります!

食品も、水も、エネルギーも、資源も“必要”なものを“必要”なだけ「ムダ」を少し意識するだけでSDGsの取り組みにつながります

問合せ 区画総務課 4階45番 ☎06-6715-9683 FAX06-6717-1160